特色 3

生活や社会に生きる教科書

本教科書は,生活や社会とつながる鍵となる,造形的な見方・考え方を働かせることができるように編集しています。
例えば,学校生活を豊かにするためのデザインを考える題材もその一つです。
また,カリキュラム・マネジメントの充実を図るために,教科等横断やESDに関連した題材などによって,
学びを広げて深められる構成にしました。
生徒一人一人が,美術の授業を通して身に付けた学びを基によりよい人生を送っていけるように,
日常の生活や社会と美術を結び付ける事例を多く掲載しています。

教科等横断で深まる学び･･･p.34
道徳科との関連･･･p.36
生活や地域とのつながり･･･p.38
持続可能な社会に向けて･･･p.40
インクルーシブ教育についての配慮･･･p.41
未来をつくる美術の力･･･p.42

※学校内のサイン計画を考える活動を通し,生活や社会に生きる美術の働きを学ぶ授業の一例です。

教科等横断で深まる学び

美術の学びは学校運営のさまざまな場面で生かされます。本教科書は,カリキュラム・マネジメントの充実が図れるように,生徒の学びの広がりや知識のつながりにも配慮しながら教科等横断して活用しやすい事例や題材を取り上げました。

特別活動

文化祭や体育祭などの飾り付けのヒントになる題材や,修学旅行で活用できる仏像を鑑賞する視点などを掲載し,美術の学びを学校行事に生かせるように工夫しました。

1p.46-47「折って,切って,巻いて」

2・3下p.30-31「仏像に宿る心」

2・3下p.54「仏像の種類」

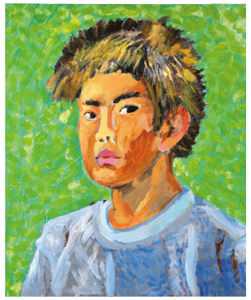
総合的な学習の時間

地域の歴史や伝統文化を知る題材を豊富に掲載し,社会参画の意識が高まる工夫をしました。

1p.56-57「祭りを彩る造形」

特別活動(進路指導)

2・3下には,自画像や抽象彫刻の題材を掲載しました。将来を意識した3年生が自己を見つめて表現する過程で生まれるアイデアスケッチなどは,進路調査の際の参考資料の一つとしても役立ちます。



生徒作品 自画像［油彩・キャンヴァス／45×38cm］

生徒作品 **理想の自分**
［石／4×3.5×3.5cm］
作者の言葉 理想の自分は蓋かれた球体です。宝石の原石のようなぴきぴきとした形から発掘していくイメージでつくりました。
参照 P.56「石を彫る」

2・3下p.18-19「イメージを追い求めて」

2・3下p.8-11「今を生きる私へ」

国語科

言葉の意味や響きの印象などから発想して形や色彩で表す文字デザインの題材を掲載しています。鑑賞活動は,評論文を書く学習にも役立ちます。伝統色も多数掲載しています。

1p.42-43「文字っておもしろい」

音楽科

合唱曲からイメージを膨らませて絵に表現する事例を掲載しています。美術史年表と音楽史を照らし合わせて学習することで,東西の文化交流をより理解できます。

2・3下p.14-15「仲間との交流の中から」

社会科

都道府県章などを調べる学習を掲載し,地理的分野との関連を図りました。浮世絵と江戸の町民文化の紹介や,ルネサンスをテーマにした題材,美術文化の継承について考える事例や美術史年表などを掲載し,歴史的分野の授業でも活用できるようにしました。また,社会的な課題を解決する公共性の高い題材は公民的分野の学習にも役立ちます。

2・3上p.24-29「浮世絵はすごい」

保健体育科

キャラクターの動きをコマ録りアニメーションで表現する際,自分たちで実際に身体を動かして考えるなど作品の発想を広げ,構想を深める事例を掲載しています。

2・3下p.40-41「動きを生かして印象的に」

技術・家庭科

情報機器を活用した作品やプレゼンテーションの事例を掲載しました。動画編集のポイントは資料ページで示し,技術分野の学習に役立てるようにしました。また,日本の四季に合わせて身近な生活を彩るデザインを考える題材や,家庭でも使用できるTシャツなどを染める題材などを掲載し,家庭分野とつなげて学習ができるようにしました。

2・3下p.57「動画をつくる」

2・3下p.36-37「私の色　みんなの色」

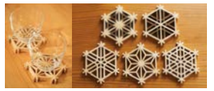
数学科

幾何学模様や連続模様を扱った題材を設けています。同じ模様でも向きを変えることで見え方も変化する図形や,その連続性に着目することができます。

1p.40-41「広がる模様の世界」

理科

ハニカム構造や雪の結晶など,自然の形から着想を得た作品を掲載することで,理科的なものの見方を育みます。また,自然物の形や色彩に着目する資料も掲載しています。



1p.54-55「自然の美しさから生まれた」

外国語科

外国の美術作品を豊富に掲載し,鑑賞を通して諸外国の文化に触れることができます。また,水引きや祭り,漫画など日本文化に関わる事例を紹介しています。

2・3下p.38-39「魅力を伝えるパッケージ」

道徳科との関連

「特別の教科　道徳」と特に関連するページには，道徳マークと内容項目に対応した文章を示し，生徒の意識を促しながら，関連を図った学習ができるように配慮しました。

自分自身に関すること

掲載箇所 3点

2･3下p.8-11「今を生きる私へ」

自己を見つめ，自己の向上を図るとともに，
個性を伸ばして充実した生き方を追求しよう。

人との関わりに関すること

掲載箇所 5点

2･3下p.14-15「仲間との交流の中から」

それぞれの個性や立場を尊重し，いろいろなものの見方や
考え方があることを理解して，謙虚（けんきょ）に他者に学ぼう。

集団や社会との関わりに関すること

掲載箇所 12点

1p.22-23「墨と水の出会い」

優れた伝統の継承（けいしょう）と新しい文化の創造に貢献（こうけん）しよう。

生命や自然，崇高なものとの関わりに関すること

掲載箇所 6点

2･3上p.34-35「季節を楽しむ心」

自然を愛護する心を持とう。

人物を表すことは，表す人をよく理解するとともに，その人に対する自分自身の気持ちに向き合うことにもつながります。表す人を見つめ，その人へのあなたの気持ちまで表せるように形や色彩，表現方法を工夫しましょう。

18 温かい人間愛の精神を深め，ほかの人々に対し思いやりの心を持とう。

1p.18-19「人間っておもしろい」

道徳マーク

道徳マークと，特別の教科　道徳の内容項目との対応

学年	頁	題材名	特別の教科　道徳の内容項目		対応についての概要
1	18-19	人間っておもしろい	B	思いやり,感謝	家族や友人など,身近な人たちを表す活動です。
	22-23	墨と水の出会い	C	我が国の伝統と文化の尊重,国を愛する態度	水の量や筆の動かし方を工夫しながら,墨での表現を味わう活動です。
	28-29	美のタイムトラベル	D	感動,畏敬の念	原始美術の造形的なよさや美しさを鑑賞する活動です。
	30-31	絵の中をよく見ると	B	相互理解,寛容	絵画に描かれた人や情景などから,作者の意図や工夫を読み取り,自らの考えを友だちと意見交換する活動です。
	50-51	暮らしの中の木の工芸	D	自然愛護	木の特性を考えて使うものをつくる活動です。
	54-55	自然の美しさから生まれた	D	感動,畏敬の念	自然物の形から発想を得たデザインを鑑賞する活動です。
	56-57	祭りを彩る造形	C	郷土の伝統と文化の尊重,郷土を愛する態度	日本やアジアの祭りの造形物を鑑賞する活動です。
2･3上	14-15	動き出しそうな　動物たち	D	生命の尊さ	動物の特徴を捉えて立体で表現する活動です。
	20-21	水と筆を操る	C	我が国の伝統と文化の尊重,国を愛する態度	墨の技法を使って表現する活動です。
	30-31	文化の出会いがもたらしたもの	C	国際理解,国際貢献	浮世絵など日本美術の表現が,西洋美術に与えた影響を考える活動です。
	32-33	手から手へ受け継ぐ	C	我が国の伝統と文化の尊重,国を愛する態度	つくり手の思いを感じながら,伝統工芸品を味わう活動です。
	34-35	季節を楽しむ心	D	自然愛護	日本の美意識について考え,季節を表すものをつくる活動です。
	42-43	つくって使って味わう工芸	C	我が国の伝統と文化の尊重,国を愛する態度	さまざまな材料や技法を使って,使うものをつくる活動です。
	44-45	暮らしやすさのデザイン	B	思いやり,感謝	誰にでも使いやすいデザインを考える活動です。
	46-47	デザインで人生を豊かに	C	社会参画,公共の精神	現代社会における貧困や障がいなどの,課題を解決するデザインについて考える活動です。
	48-49	憩いを生み出す場所	D	自然愛護	自然や環境に調和した空間について鑑賞する活動です。
2-3下	8-11	今を生きる私へ	A	向上心,個性の伸長	自分の内面を表現する自画像の活動です。
	14-15	仲間との交流の中から	B	相互理解,寛容	他者と関わりながら共同制作に取り組む活動です。
	22-23	ルネサンスが目指したもの	A	真理の追究,創造	ルネサンスの作品を鑑賞する活動です。
	24-29	あの日を忘れない	A	希望と勇気,克己と強い意志	自然災害や戦争の惨劇などから生まれた作品で,美術のおよぼす力について考える活動です。
			C	国際理解,国際貢献	
	30-31	仏像に宿る心	C	我が国の伝統と文化の尊重,国を愛する態度	仏像に込められた意味や願いを考える活動です。
	32-33	どこまで修復すべきか	C	我が国の伝統と文化の尊重,国を愛する態度	文化財の修復について考える活動です。
	42-43	心がほっと　なごむもの	B	思いやり,感謝	使用する場所や使う人の気持ちを考えてつくる活動です。
	44-45	人が生きる社会と未来	C	社会参画,公共の精神	これからの社会にふさわしい環境について考える活動です。
	46-47	笑顔が生まれる鉄道デザイン	C	我が国の伝統と文化の尊重,国を愛する態度	地域や使う人を考えた鉄道のデザインを鑑賞する活動です。

道徳との関連が分かりやすく示されています。

美術科は心豊かな生活を創造していくものであり，学習自体が道徳教育と深く結び付いています。授業では，**美術の学びの深まりが道徳性を養うという意識と積極的な関わりが大事**になってきます。本教科書では，道徳マークと適切な分量の関連する内容の言葉がページ下部に設けられ，価値観の押し付けではない，**さり気なく心に残る示し方**になっています。

道徳教育に関する校閲者
島恒生（しまつねお）先生（畿央大学大学院教授）

生活や地域とのつながり

新学習指導要領では「生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力」を育成するという目標が示されました。本教科書では，生徒が美術の働きを実感的に理解し自らの生活に生かせるように，家庭や地域社会に結び付いた事例を掲載しています。

中学生が見付けた生活の中の美

生活の中の美術の働きに気付く感性を育み，造形的な見方を広げることができるように，生徒自らが見付けて撮影した身の回りの美を掲載しています。主体的に見つけようとする意欲が生まれ，友だちとの対話を通して自分がどこに美を見いだしたのかを言語化し互いの違いを認め合うことで，さらに見方や考え方を深めていくことができる構成にしました。

2・3上p.6-7「あなたの美を見つけて」

美術の働きを実感できる場面を随所に掲載

家庭で使う器を考えたり，学校を彩る飾りを考えたりする題材の掲載や，日常のさまざまな場面で生活をより豊かにする美術の働きが実感できる事例を取り上げています。

2・3下p.58-59「社会に生きる美術の力」

2・3下p.42-43「心がほっと　なごむもの」

授業時間外でもアンテナを立てる

美術の学びは，日々の生活とつながっています。家庭での活動や休日の過ごし方などに生かせる資料を掲載し，生徒の意欲的な表現や鑑賞活動を後押しします。

漫画資料約30万点が京都に集結

京都国際マンガミュージアム

漫画は敷地内の芝生でも自由に読むことができる。

1p.74-75「美術館へ行こう」

日常的に鑑賞活動に親しむきっかけをつくるため，さまざまな地域の美術館を紹介しています。

2・3上p.55「写真で表現する」

生徒にとって身近な表現方法である写真の技法を，資料として掲載しています。

地域社会とのつながりに気付く

各地域の伝統文化や，作品展示の情景写真など，地域に生きる美術について意識を向けるきっかけとなる事例を取り上げています。

➡「地域別の詳しい掲載内容」は
52ページをご覧ください

⓬姫革細工（ひめかわざいく）
［兵庫県］

2・3下p.53「受け継ぐ伝統と文化」

地域で育まれた日本の伝統工芸や文化に触れる資料を掲載しています。

2・3下p.50-51「さまざまなアートに触れよう」

地域の公共空間などでの作品展の様子を紹介しています。

❾造形おかざきっ子展（おかざき）
（愛知県岡崎市）

❻生誕［大理石／253×321×168cm］2011
創成川公園（そうせいがわ）［北海道］　安田侃（やすだかん）［北海道・1945～］

2・3上p.52-53「暮らしに息づくパブリックアート」

街中に展示されている美術作品を紹介しています。

持続可能な社会に向けて

生徒が持続可能な社会について実感的理解を持って考えられるように,ESDの視点に立った題材や事例を数多く掲載しています。

多文化共生・共同制作

国際理解について考えられるように，諸外国の生徒作品や美術作品を掲載しています。また，自分の思いを伝え，他者への理解を深める対話的な学びを行う共同制作の題材を2・3下に掲載しています。

1p.18-19「人間っておもしろい」

防災・安全

防災に関わる題材の掲載に加え，防災研究の専門家の先生に本教科書の全面的な校閲をお願いしています。また，人の行動を促すデザインなど，美術の働きを生かして安全性を高める事例を掲載しています。

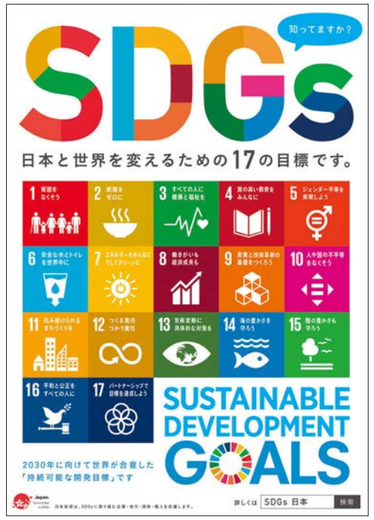
2・3上p.38-39「ひと目で伝えるための工夫」

2・3下p.44-45「人が生きる社会と未来」

環境

自然との共生や，環境と美術との関係について考える題材を各学年に掲載しています。

2・3下p.44-45「人が生きる社会と未来」



2・3上p.40-41「その一枚が人を動かす」

伝達のデザインについて学ぶ題材で，持続可能な開発目標（SDGs）を取り上げています。

オリンピック・パラリンピック

エンブレムに込められた作者の思いを考える題材や，一人一人の人生や社会をより豊かにする美術の力について考える題材を掲載しています。

1p.44-45「印象に残るシンボルマーク」

2・3上p.46-47「デザインで人生を豊かに」

インクルーシブ教育についての配慮

さまざまな特性のある生徒たちが共に学び合うことができる紙面を心掛けて編集しました。また，人々の多様な在り方を相互に認め合い，共生社会の形成を目指す姿勢を持てるように配慮しました。

教科書編集上の全体的な配慮

題材のタイトルや主文にはUDフォントを用い，マークの色をはじめとして，全ページにわたりカラーユニバーサルデザインに配慮しました。

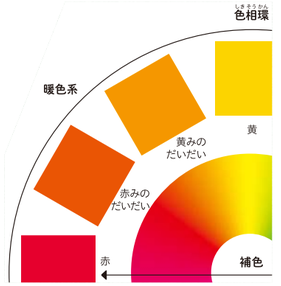
安全面を重視

道具の安全な使い方を，視覚的にも分かりやすく掲載しています。

1p.64「彫刻刀の持ち方」

色相環の表記

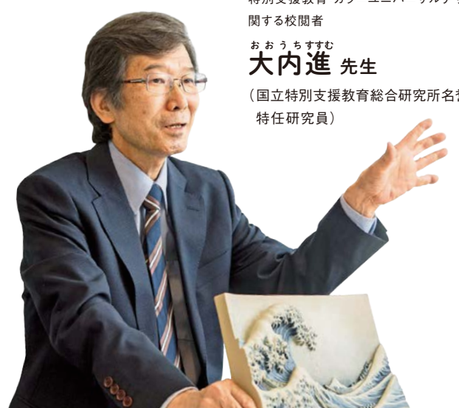
日本色研事業（株）の協力の下，十二色相環を表示するとともに，色覚に特性のある生徒でも色名が覚えられるよう，表記に配慮しました。



1p.72「色の三属性」

多様なニーズに応えた，見やすい紙面です。

全ページを通して，文字と背景のコントラストを意識し，頻出するマークの色はカラーユニバーサルデザインの観点で配慮するなど，色覚特性などの有無に関わらず，全ての生徒が等しく学べるよう，丁寧な編集がされています。



特別支援教育・カラーユニバーサルデザインに関する校閲者
大内進（おおうちすすむ）先生
（国立特別支援教育総合研究所名誉所員・特任研究員）

多様性への配慮

作品掲載においては，作家作品，伝統工芸，アール・ブリュットの作品などを幅広く取り上げています。教科書全体を通して多様性を尊重しながら学ぶことで，人権教育にもつながるように配慮しました。

2・3下p.14-15「仲間との交流の中から」

2・3下p.50-51「さまざまなアートに触れよう」

共同制作の題材では，特別支援学級の生徒による作品も掲載しています。

アーケードを空中ギャラリーとして活用したアール・ブリュット作品の展示風景を掲載しています。

未来をつくる美術の力
「誕生」と「ゲルニカ」

東日本大震災をきっかけとして制作された池田学の「誕生」と，戦争の悲劇を描いたピカソの「ゲルニカ」。自然災害や戦争といった忘れてはいけない衝撃的な出来事に対して制作された作品を通し，平和や人権への意識を高め，自分たちに何ができるのか，美術の力で未来への希望をつないでいくことを考える題材を設定しました。

作家インタビュー動画

池田学（いけだまなぶ）さん
（画家）

教師用指導書には「誕生」を描いた作家の池田学さんによる作品解説動画を収録しています。制作時の思いや，細部の工夫について伺いました。

指導書収録内容のダイジェスト版をご覧いただけます。

線の一本一本が見える迫力ある原寸大

原寸大の図版を掲載することで，縦3メートル×横4メートルという巨大な作品の大きさを体感できるようにしました。

鑑賞を深める知識

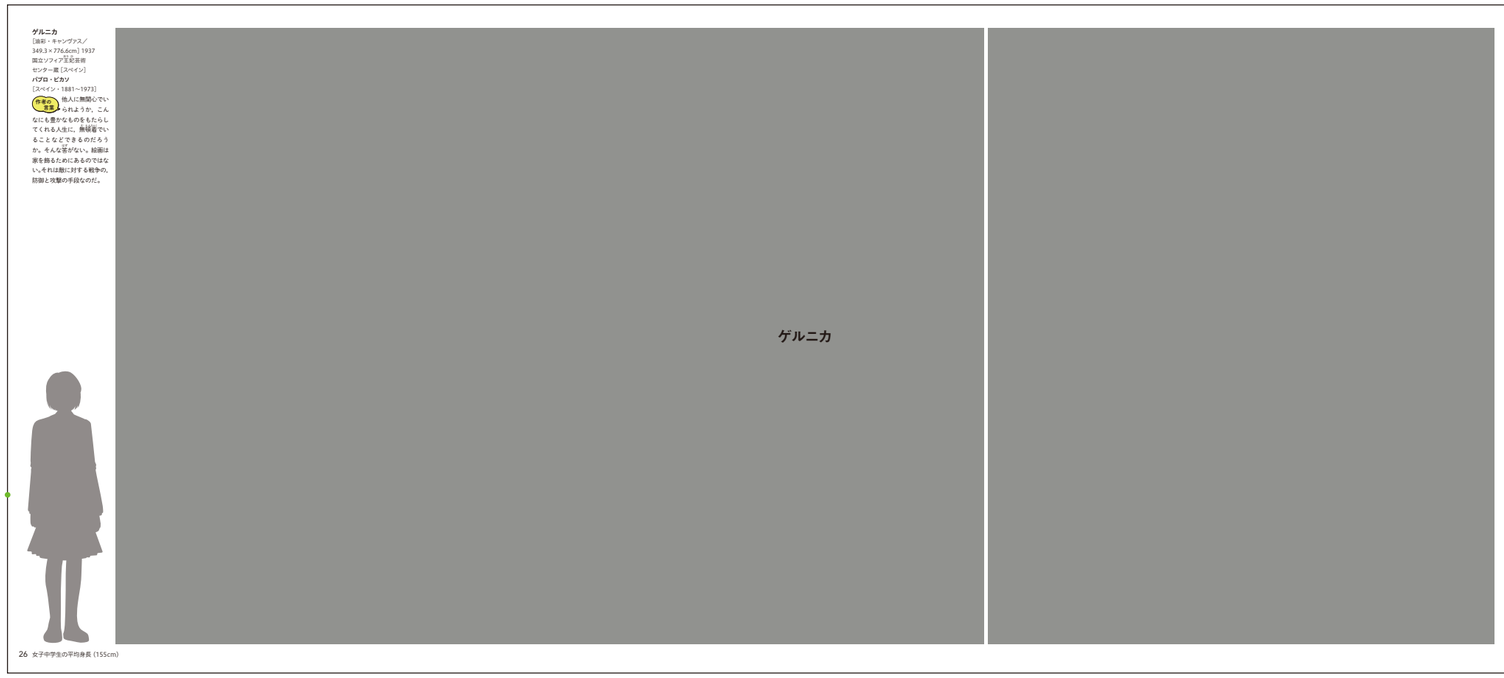
「ゲルニカ」は，なぜこのような描き方がされたのか。作品の右ページで，ゲルニカのデッサンやピカソの絵の変遷など紹介することで，生徒の鑑賞の視点を増やし，より深い学びにつなげられるような構成にしました。また，作品のみでも鑑賞できるようにページを裏側に折り込める構造にしました。

ゲルニカのデッサンなどを収録

拡大して鑑賞できる高精細画像を収録

道徳に学びをつなげる

道徳科の内容との関連事項を掲載し，人類の未来について考えることを促します。

作品サイズが実感できる工夫

標準的な中学生の身長のシルエットを比較として掲載し，大きな作品を描いた作者の思いを，より自分ごととして考えられるようにしました。